

4 世帯と住宅

(1) 世帯

総世帯数は1,032,476世帯で、12年調査に比べ46,647世帯、4.7%増加した。そのうち、一般世帯数は1,029,481世帯で、45,664世帯、4.6%増加し、施設等の世帯数は1,514世帯で、333世帯、28.2%増加した。（〔注〕総世帯数には「世帯の種類不詳」が含まれているため、一般世帯数と施設等の世帯数を合わせたものに一致しない。）

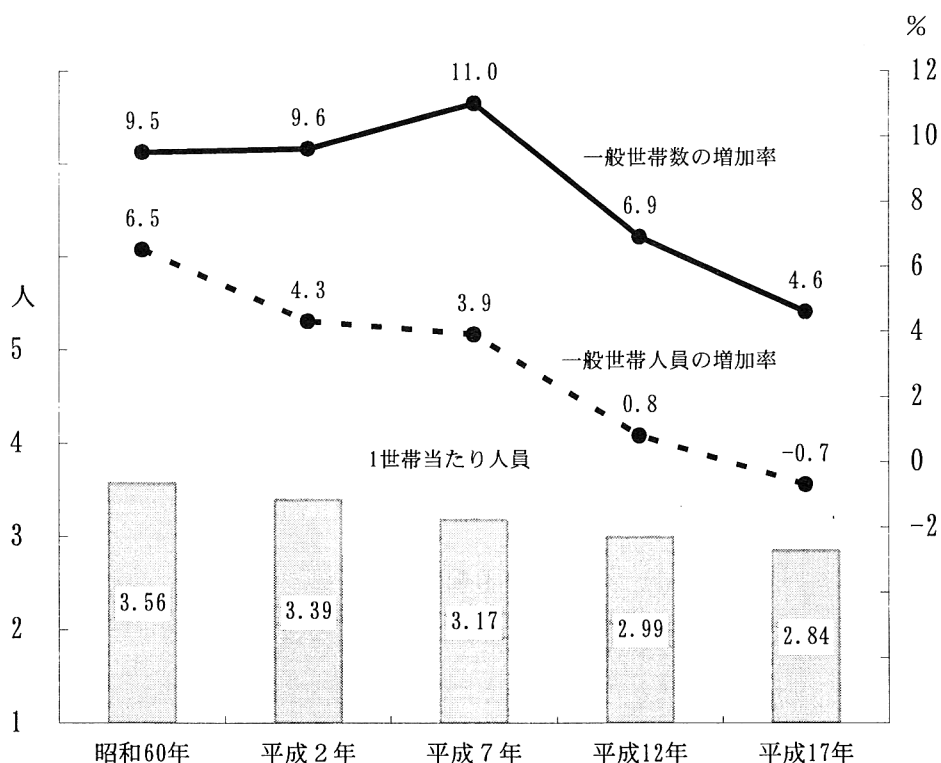
一般世帯の増加数45,664世帯のうち、単独世帯の増加数が27,406世帯であり構成比で60.0%を占めている。（第11表、第14表）

一般世帯人員は2,922,975人で、12年調査に比べ19,931人、0.7%の減少となった。その結果、一般世帯1世帯当たり人員は平成12年に比べ0.15人減少して2.84人となった。

一般世帯数及び一般世帯人員の増加率の推移を昭和60年からみると、世帯数の増加率が常に世帯人員の増加率を上回っているため、1世帯当たり人員は連続して減少している。

（図—15）

図—15 一般世帯数、世帯人員の増加率及び1世帯当たり人員の推移
（昭和60年～平成17年）—茨城県—



地域別にみると、平成12年と比べた一般世帯数の増加率は、高い順に鹿行地域（8.5%）、県南地域（6.3%）、県央地域（4.3%）、県西地域（3.4%）、県北地域（2.1%）であり、世帯人員の増加率では、鹿行地域（1.6%）、県南地域（0.5%）は増加しているが、他の地域は減少している。

1世帯当たり人員では、最も多いのが県西地域（3.20人）で、以下、鹿行地域（2.93人）、県南地域（2.77人）、県北地域（2.74人）、県央地域（2.69人）となっており、平成12年に比べての増減では、全地域が減少しているが鹿行地域が0.20人減で最も大きい。（表—15）

表-15 一般世帯数, 世帯人員及び1世帯当たり人員 一県・地域一

県・地域	世帯数			世帯人員			1世帯当たり人員		
	平成12年	平成17年	増加率(%)	平成12年	平成17年	増加率(%)	平成12年	平成17年	増減
茨城県	983,817	1,029,481	4.6	2,942,906	2,922,975	-0.7	2.99	2.84	-0.15
県北地域	230,662	235,536	2.1	660,025	644,709	-2.3	2.86	2.74	-0.12
県央地域	162,471	169,412	4.3	458,531	455,849	-0.6	2.82	2.69	-0.13
鹿行地域	86,616	93,970	8.5	271,256	275,666	1.6	3.13	2.93	-0.20
県南地域	328,679	349,252	6.3	961,229	965,859	0.5	2.92	2.77	-0.15
県西地域	175,389	181,311	3.4	591,865	580,892	-1.9	3.37	3.20	-0.17

市町村別にみると、一般世帯の1世帯当たり人員で、最も多いのは八千代町で、次いで、新治村, 河内町, 行方市, 桜川市の順になっている。また、最も少ないのは、水戸市で、次いで、つくば市, 日立市, 土浦市, 鹿嶋市となっている。(表-16, 第11表, 別表1)

表-16 一般世帯1世帯当たり人員の多い(少ない)市町村

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	1世帯当たり人員	市町村名	1世帯当たり人員
1	八千代町	3.78	水戸市	2.47
2	新治村	3.51	つくば市	2.48
3	河内町	3.51	日立市	2.56
4	行方市	3.51	土浦市	2.60
5	桜川市	3.48	鹿嶋市	2.69

(2) 世帯の家族類型

一般世帯数をその世帯主との続き柄によって家族類型別にみると、親族世帯数は786,862人で全体の76.4%を占め、非親族世帯数は4,486人(0.4%)、単独世帯数は238,133人(23.1%)となっている。親族世帯のなかの核家族世帯数は600,461世帯で一般世帯の58.3%を占めている。

平成7年からの推移をみると、核家族世帯数の増加率は、平成7~12年(7.6%)から平成12~17年(4.7%)と低下しているが、一般世帯に占める割合では58%前後でほぼ横ばい状態である。

核家族世帯の家族類型別世帯の一般世帯に占める割合をみると、「夫婦のみの世帯」、「男親と子供の世帯」、「女親と子供の世帯」が上昇してきているのに対し、「夫婦と子供の世帯」は低下してきている。

単独世帯は、増加率は低下したものの、一般世帯に占める割合は上昇しており今回の調査では23.1%となった。(表-17)

表一17 世帯の家族類型別一般世帯数の推移(平成7年～17年) -茨城県-

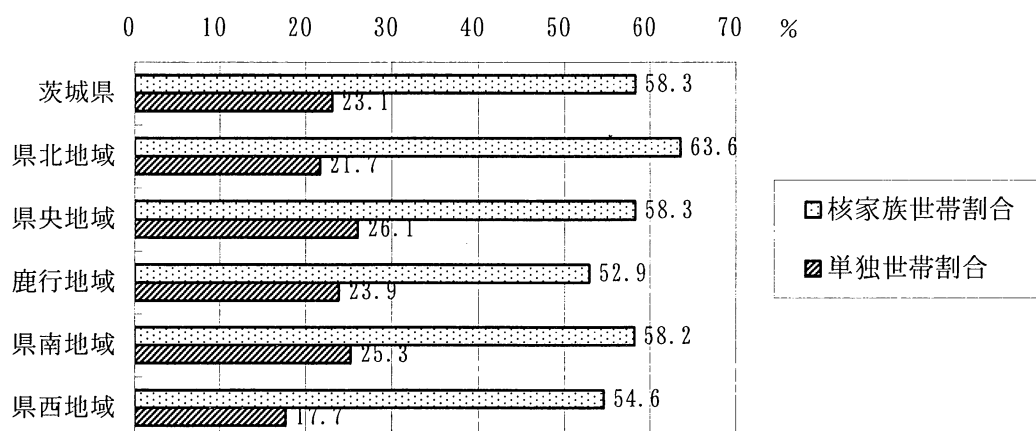
世帯の家族類型	一般世帯数			増加率		一般世帯に占める割合(%)		
	平成7年	平成12年	平成17年	平成7年 ～12年	平成12年 ～17年	平成7年	平成12年	平成17年
総 数	920,513	983,817	1,029,481	6.9	4.6	100.0	100.0	100.0
A 親 族 世 帯	736,507	769,978	786,862	4.5	2.2	80.0	78.3	76.4
I 核家族世帯	532,687	573,327	600,461	7.6	4.7	57.9	58.3	58.3
(1) 夫 婦 の み の 世 帯	138,375	168,248	191,110	21.6	13.6	15.0	17.1	18.6
(2) 夫 婦 と 子 供	333,317	332,516	323,801	-0.2	-2.6	36.2	33.8	31.5
(3) 男 親 と 子 供	10,741	12,402	14,528	15.5	17.1	1.2	1.3	1.4
(4) 女 親 と 子 供	50,254	60,161	71,022	19.7	18.1	5.5	6.1	6.9
II その他の親族世帯	203,820	196,651	186,401	-3.5	-5.2	22.1	20.0	18.1
(5) 夫 婦 と 両 親	6,781	7,728	8,399	14.0	8.7	0.7	0.8	0.8
(6) 夫 婦 と ひ と り 親	13,415	16,472	18,775	22.8	14.0	1.5	1.7	1.8
(7) 夫 婦 , 子 供 と 両 親	63,195	54,867	45,728	-13.2	-16.7	6.9	5.6	4.4
(8) 夫 婦 , 子 供 と ひ と り 親	66,985	63,053	57,335	-5.9	-9.1	7.3	6.4	5.6
(9) 夫婦と他の親族(親・子供を含まない)	2,445	2,633	2,901	7.7	10.2	0.3	0.3	0.3
(10) 夫婦, 子供と他の親族(親を含まない)	9,110	10,944	12,027	20.1	9.9	1.0	1.1	1.2
(11) 夫婦, 親と他の親族(子供を含まない)	4,379	4,343	4,156	-0.8	-4.3	0.5	0.4	0.4
(12) 夫婦, 子供, 親と他の親族	23,549	20,420	18,196	-13.3	-10.9	2.6	2.1	1.8
(13) 兄 弟 姉 妹 の み	3,180	3,890	4,534	22.3	16.6	0.3	0.4	0.4
(14) 他に分類されない親族世帯	10,781	12,301	14,350	14.1	16.7	1.2	1.3	1.4
B 非 親 族 世 帯	1,988	3,112	4,486	56.5	44.2	0.2	0.3	0.4
C 単 独 世 帯	182,018	210,727	238,133	15.8	13.0	19.8	21.4	23.1

一般世帯数に占める核家族世帯数の割合を地域別にみると、最も高いのが県北地域(63.6%)で、次いで県央地域(58.3%)、県南地域(58.2%)、県西地域(54.6%)、鹿行地域(52.9%)の順になっている。一般世帯数に占める単独世帯数の割合では、県央地域(26.1%)が最も高く、次いで県南地域(25.3%)、鹿行地域(23.9%)、県北地域(21.7%)、県西地域(17.7%)の順になっている。(表一18、図一16)

表一18 一般世帯に占める核家族世帯及び単独世帯の割合

県・地域	一般世帯数	核家族世帯数	単独世帯数	一般世帯数に占める割合(%)	
				核家族世帯	単独世帯
茨城県	1,029,481	600,461	238,133	58.3	23.1
県北地域	235,536	149,834	51,089	63.6	21.7
県央地域	169,412	98,708	44,246	58.3	26.1
鹿行地域	93,970	49,668	22,478	52.9	23.9
県南地域	349,252	203,340	88,250	58.2	25.3
県西地域	181,311	98,911	32,070	54.6	17.7

図一16 一般世帯に占める核家族世帯及び単独世帯の割合



市町村別に、一般世帯数に占める核家族世帯数の割合をみると、最も高いのは、利根町で、次いで、牛久市、那珂市、東海村、守谷市の順となっている。また、最も低いのは、行方市で、次いで、八千代町、旭村、つくば市、河内町の順になっている。

(表一19, 第15表, 別表1)

表一19 核家族世帯割合の高い(低い)市町村

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	割合 (%)	市町村名	割合 (%)
1	利根町	70.2	行方市	41.0
2	牛久市	68.3	八千代町	43.0
3	那珂市	67.9	旭村	43.4
4	東海村	67.6	つくば市	46.4
5	守谷市	67.3	河内町	49.0

次に、一般世帯に占める単独世帯の割合をみると、最も高いのは、つくば市で、次いで、水戸市、神栖市、阿見町、土浦市の順になっており、最も低いのは、利根町で、次いで、新治村、河内町、八千代町、城里町の順である。(表一20, 第15表, 別表1)

表一20 単独世帯割合の高い(低い)市町村

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	割合 (%)	市町村名	割合 (%)
1	つくば市	39.1	利根町	10.2
2	水戸市	31.1	新治村	11.2
3	神栖市	28.0	河内町	12.5
4	阿見町	27.6	八千代町	13.2
5	土浦市	27.3	城里町	13.5

(2) 住宅

住宅に住む一般世帯数は1,008,520世帯で、12年調査に比べ49,495世帯、5.2%増加した。住宅に住む一般世帯を、住宅の所有の関係別にみると、持ち家世帯は713,233世帯で、12年に比べ36,801世帯、5.4%増加した。借家世帯は250,705世帯で、20,255世帯、8.8%増加した。一般世帯に占める割合は、持ち家世帯は70.7%、借家世帯は24.9%であり、両方とも割合は僅かながら上昇している。その一方で給与住宅は減少している。

(表-21, 第16表)

表-21 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数の推移(平成7年~17年) -茨城県-

住宅の所有の関係	世帯数			増加率(%)		構成比(%)		
	平成7年	平成12年	平成17年	平成7年 ~12年	平成12年 ~17年	平成7年	平成12年	平成17年
住宅に住む一般世帯	893,556	959,025	1,008,520	7.3	5.2	100.0	100.0	100.0
主世帯	886,742	949,817	999,451	7.1	5.2	99.2	99.0	99.1
持ち家	629,741	676,432	713,233	7.4	5.4	70.5	70.5	70.7
借家	210,875	230,450	250,705	9.3	8.8	23.6	24.0	24.9
公営の借家	31,247	32,421	33,425	3.8	3.1	3.5	3.4	3.3
都市機構・公社の借家	7,371	7,617	7,056	3.3	-7.4	0.8	0.8	0.7
民営の借家	172,257	190,412	210,224	10.5	10.4	19.3	19.9	20.8
給与住宅	46,126	42,935	35,513	-6.9	-17.3	5.2	4.5	3.5
間借り	6,814	9,208	9,069	35.1	-1.5	0.8	1.0	0.9

住宅に住む一般世帯について住宅の建て方別にみると、一戸建てに住む世帯は757,000世帯で、12年調査に比べ27,265世帯、3.7%増加した。長屋建てに住む世帯は20,172世帯で、734世帯、3.5%減少した。マンションやアパートなどの共同住宅に住む世帯は、230,045世帯で、23,218世帯、11.2%増加した。共同住宅のなかでも、6階建以上の建物に住む世帯の数の増加率は平成7年~12年の32.3%からは半減したが、それでも16.7%と高い伸びを示している。構成比をみると、17年では、一戸建て75.1%、長屋建て2.0%、共同住宅22.8%であり、平成7年からの推移をみると、一戸建て、長屋建てが低下しているのに対し共同住宅は上昇している。(表-22, 第17表)

表-22 住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数の推移(平成7年~平成17年) -茨城県-

住宅の建て方	世帯数			増加率(%)		構成比(%)		
	平成7年	平成12年	平成17年	平成7年 ~12年	平成12年 ~17年	平成7年	平成12年	平成17年
住宅に住む一般世帯	893,556	959,025	1,008,520	7.3	5.2	100.0	100.0	100.0
一戸建	691,652	729,735	757,000	5.5	3.7	77.4	76.1	75.1
長屋建	23,225	20,906	20,172	-10.0	-3.5	2.6	2.2	2.0
共同住宅	177,613	206,827	230,045	16.4	11.2	19.9	21.6	22.8
1・2階建	91,076	105,624	120,525	16.0	14.1	10.2	11.0	12.0
3~5階建	70,914	80,536	85,400	13.6	6.0	7.9	8.4	8.5
6階建以上	15,623	20,667	24,120	32.3	16.7	1.7	2.2	2.4
その他	1,066	1,557	1,303	46.1	-16.3	0.1	0.2	0.1

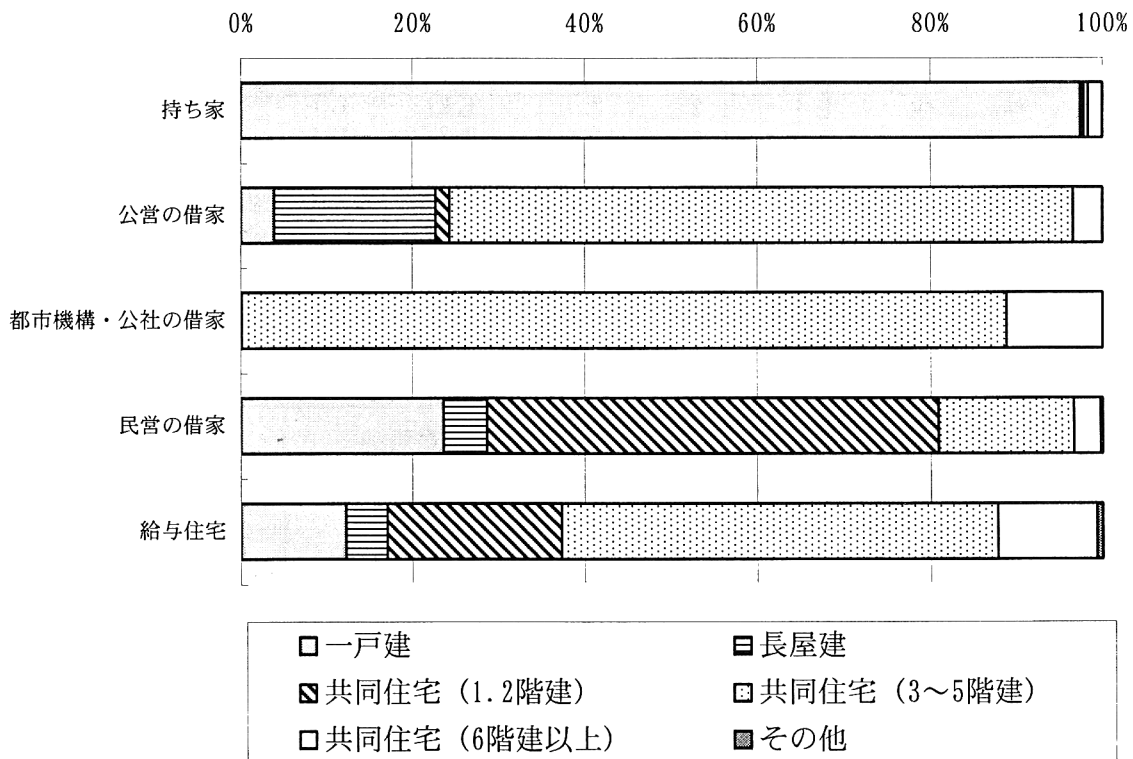
住宅の所有の関係別に住宅の建て方をみると、持ち家に住む世帯のうち一戸建てに住む世帯の割合は、97.5%と非常に高い。公営の借家、都市機構・公社の借家、給与住宅に住む世帯では、共同住宅（3～5階建）に住む割合が高い。民営の借家に住む世帯では、5割程度が共同住宅（1・2階建）に住み、2割程度が一戸建てに住む状況となっている。

（表—23、図—17）

表—23 住宅の所有の関係，建て方別住宅に住む世帯数 —茨城県—

住宅の所有の関係	一戸建	長屋建	共同住宅 (1・2階建)	共同住宅 (3～5階建)	共同住宅 (6階建以上)	その他
持ち家	695,090	1,282	1,556	3,403	11,520	382
公営の借家	1,306	6,290	526	24,171	1,132	—
都市機構 ・公社の借家	—	7	2	6,264	783	—
民営の借家	49,636	10,625	109,805	33,174	6,482	502
給与住宅	4,369	1,694	7,205	17,926	4,085	234
【建て方別の構成比(%)】						
持ち家	97.5	0.2	0.2	0.5	1.6	0.1
公営の借家	3.9	18.8	1.6	72.3	3.4	—
都市機構 ・公社の借家	—	0.1	0.0	88.8	11.1	—
民営の借家	23.6	5.1	52.2	15.8	3.1	0.2
給与住宅	12.3	4.8	20.3	50.5	11.5	0.7

図—17 住宅の所有の関係，建て方別住宅に住む世帯の割合
(平成17年) —茨城県—



住宅の規模を住宅の所有の関係別にみると、平成12年に比べ、1世帯当たり延べ面積は都市機構・公社の借家以外は、僅かではあるがすべて増加している。面積が最も広いのは持ち家の世帯(128.0㎡)で、次いで給与住宅(57.1㎡)、公営の借家(54.2㎡)となっている。

1人当たり延べ面積は、12年に比べいずれも増加している。面積が最も広いのは持ち家の世帯(39.9㎡)で、次いで給与住宅(24.7㎡)、民営の借家(24.7㎡)となっている。

(表—24、第16表)

表—24 住宅の所有の関係別1世帯当たり延べ面積及び1人当たり延べ面積の推移
(平成7年～平成17年) —茨城県—

住宅の所有の関係	1世帯当たり延べ面積 (㎡)			1人当たり延べ面積 (㎡)		
	平成7年	平成12年	平成17年	平成7年	平成12年	平成17年
住宅に住む一般世帯	97.9	103.7	104.6	30.3	34.1	36.4
主世帯	98.4	104.3	105.1	30.3	34.2	36.5
持ち家	120.5	127.2	128.0	33.1	37.3	39.9
公営の借家	51.2	53.6	54.2	16.9	18.7	19.9
都市機構・公社の借家	49.4	52.7	51.9	17.7	19.7	20.9
民営の借家	40.5	44.6	45.4	19.9	22.9	23.8
給与住宅	53.2	55.9	57.1	21.4	23.5	24.7
間借り	31.8	43.7	44.5	16.4	20.3	21.6
【延べ面積の増減】						
住宅に住む一般世帯	2.6	5.8	0.9	2.8	3.8	2.3
主世帯	2.7	5.9	0.8	2.7	3.9	2.3
持ち家	5.8	6.7	0.8	3.3	4.2	2.6
公営の借家	2.0	2.4	0.6	1.4	1.8	1.2
都市機構・公社の借家	2.4	3.3	-0.8	2.2	2.0	1.2
民営の借家	-0.2	4.1	0.8	1.4	3.0	0.9
給与住宅	-1.3	2.7	1.2	1.7	2.1	1.2
間借り	5.0	11.9	0.8	1.4	3.9	1.3